

## 定時制高校給食検討チーム「最終報告」における「給食廃止」を撤回し、再検討を求める請願署名

### 【請願趣旨】

平成 29 年 11 月 15 日開催された千葉県教育委員会会議において、千葉県教育委員会（以下「県教委」と略す）は夜間定時制高校の給食のあり方について、「定時制高校給食検討チーム」（以下「検討チーム」と略す）最終報告を行いました。しかし、この「最終報告」には、重大な問題があります。

「最終報告」は唐突に「夜間学校給食は廃止」とし、その理由として「近年における生徒の就労状況、生活リズム、食へのニーズなどの環境の変化に必ずしも適合しなくなっている。」としました。しかし、その根拠はきわめて希薄であり、当初から「給食廃止」の結論があったものと言わざるを得ません。

例えば、千葉県内の夜間定時制高校で働きながら学ぶ生徒は 51%であり全国平均の 42%を大きく上回っています。また、「最終報告」は給食の喫食率が「50%を下回っている」としていますが、一方で「学校給食実施状況等調査」（平成 28 年 5 月 1 日）では 77.1%とあります。給食を食べていない生徒の中には食べたとも月額 6000 円前後の給食費が払えない生徒が少なくありません。検討すべきはこうした実状の把握であり、これに答える給食のあり方であるはずで、「最終報告」は検討の名に値するものとは言えません。

また、検討チームは給食を実施している 12 校における生徒の生活実態や給食ニーズ等についての調査もないまま「最終報告」とし、全校廃止と結論づけました。これは余りに性急であり、「検討チーム」の任務を放棄したものと言えるでしょう。

「最終報告」は、「生徒が自ら選択する食事の一つとして、各学校の実態に応じた夕食を提供することが適当」としています。食事を選択する余裕のある生徒が実際にどれだけ存在しているのか、「検討チーム」は把握しているのでしょうか。これはまさしく教育行政の責任を放棄するものに他なりません。

このように重大な問題をもつ今回の「最終報告」は断じて認めるわけにはいきません。

さらに問題なのは、千葉県議会において「夜間定時制高校の給食継続を求める請願」について活発な議論のもとに慎重な審査が進められている（5 度「継続審査」）中であって、今回県教委が「最終報告」に踏み切ったことです。これは千葉県議会の著しい軽視であり県民の声を無視するものです。

夜間定時制高校で学ぶ生徒には給食が必要です。私たちは夜間定時制高校の給食実施を求めます。

以上のことから、私たちは以下を求めます。

### 【請願事項】

1. 定時制高校給食検討チーム「最終報告」の「給食廃止」は撤回し、再検討を行ってください。

平成 29 年 11 月

請願者 千葉県夜間定時制高校の給食を守る会  
代表 宮内 渉 住所 佐倉市宮前 2-24-8

### 署名欄

氏 名	住 所